

従業員向け

## 児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	四季の自然を感じたり、のびのびと走り回れるお庭を設置している点に工夫を感じます。 事務所の使い方を工夫した方がよい。 子どもの現状に合わせて、環境設定の見直しを常に行っている。また、引き続き行っていく。 活動に応じて、部屋のスペースを仕切れるようにできたらいいなと感じることがある。	環境面の工夫について評価していただいた点を励みに、引き続き子どもが安心して身体を動かせる環境づくりを意識していきます。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	手作りの遊具等、考えられていると思う。 グループによっては個別の対応が必要なお子さんもいる。 必要な時はヘルプ保育士を頼んでいる。	環境や遊具について評価していただいた点を励みに、今後も子どもの発達に合った環境づくりを意識していきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	バリアフリー化を充実させていきたい。 テラスは安全に配慮した施工がされた。 バリアフリーにはなっていない。 十分な広さの中安全に過ごせるようになっているが、扉の鍵が閉まりにくいことが続き、改善が必要と感じることもある。	安全面への配慮を継続し、気になる点については職員間で共有しながら対応しています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	広いスペースとマットでくつろげるスペースがある。 庭の工事をを行い、保護者にも好評。 子ども達も広々と体を動かすことができている。	子どもが安心して過ごせる空間として評価していただいた点を励みに、今後も落ち着いて過ごせる環境づくりを意識していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	3	パーティションで区切ることで対応出来るとおもわれる。 更に安全に過ごせるような環境作りをしていきたい。 パーティションがあるので個別に対応できる。ヌックが設置されている。 子ども用の個別の部屋はない。ヌックという狭いスペースを設置した。 空間を必要に応じて仕切れるようになると活動の幅が広がりそうと感じる。	環境面についての意見を受け止め、現状の設備を活かしながら、子どもが安心して過ごせる空間づくりを意識して支援を行っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	会議時間が長いので、要点を絞って行えば短くなるのではと思う。毎回療育後の振り返りを行っている。 定期的な会議等により日常的に業務改善の話し合いはなされているが、PDCAサイクルの運用はまだ足りないと感じる。	療育後の振り返りは必要なものとして継続しつつ、会議の進め方については要点を意識するなど工夫を心がけていきます。業務改善については日常的に話し合いを行っており、今後も振り返りを意識してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2	1 on 1での話し合いを行っている。 定期的な職員会議などで、職員が意見等を伝える機会はあるが、意見を伝えやすい環境ではないと感じている。 会議や個別の面談があるが、率直な意見が言いやすいとは言えない。	会議や1on1の面談を通して意見を共有する機会を設け、職員間の連携につなげている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	まだ、実施していない	現在は第三者評価は未実施であるが、今年度中の実施を予定しています。

	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	外部研修も積極的に参加できる呼びかけがある。 法人内で複数の研修が開催されており、研修に参加出来ない職員に対し、研修内容が周知されている。 また、外部の研修にも参加し、受講した職員からその内容が共有されている。 研修の機会はあるが、なかなか参加できる時間が確保できない。	研修の機会を活かせるよう、日常業務との調整を意識していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	週ごとにテーマがあるなど毎回工夫がある。 職員間で、日常的に支援プログラムの検討が行われている。 表にしたほうが利用者もわかりやすいと思う。	支援内容の伝え方について、今後も工夫を意識していきます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	定期的なケース会議にて計画作成のために必要な話し合いがなされており、お子さまと保護者のニーズを分析した上で、個別支援計画が作成されている。個別に丁寧に対応している。	ケース会議を活用し、ニーズを踏まえた個別支援に取り組んでいきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	些細な事でも常に共有できている。	引き続き、職員間で連携を図りながら対応してまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	職員同士で計画を共有し、それにともなった連絡や報告も共有している。その場に居合わせない職員にも朝礼でも共有している。 サービス提供記録を書く際に、個別支援計画への評価欄もあることで、常に意識することができる。	情報共有を徹底し、個別支援計画を意識した支援を行っています。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	日々の振り返りやケース会議での検討、保護者から検査結果を共有していたことで、支援計画に生かしている。	振り返りやケース会議、検査結果を支援計画に活かしていきます。 アセスメントツールを利用している。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	支援を始める方への事前の説明が十分に行われている。	今後も丁寧な説明を心がけてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	提案や意見交換をして立案している。 チームで立案するように心がけているがもっとプログラムの立案や、教材研究に取り組んでいきたい。	提案や意見交換を行いながら、チームで支援プログラムの立案に取り組んでいきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	季節に合わせた取り組みや個別の支援目的に合った取り組みができています。 週ごとにテーマを決め、季節や行事等を考慮したプログラムの作成が行われている。 季節に合った活動や、共通のテーマに沿った活動をグループごとにコーディネートして提供している。	季節や支援目的に合わせた活動を工夫して提供していきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	2	子どもの年齢や特性などに合わせ、小集団での活動だけでなく支援時間の中で必要に応じて個別対応を取り入れる工夫がされている。 少人数の活動中心。個別活動はあまり行っていない。 スタッフに余裕があれば個別での活動も取り入れて行けるといと思う。	小集団での活動を基本としつつ、子どもの特性に応じた支援が行えるよう、今後は個別活動の導入も視野に入れていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	毎回療育前の打ち合わせや療育内容の相談が十分になされている。 チームでの連携が取れていないわけではないが、支援開始前の打ち合わせについては、十分な時間が確保されているとは言えない。 送迎やその他のスケジュールの関係で直前になってしまうことがある。余裕を持って打ち合わせを行えるようにしたい。	療育前の打ち合わせを大切にし、支援内容の共有と連携を意識しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	毎日行っている	今後も継続して行ってまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	ひとりひとりの事を細かく振り返り様子や支援方法を確認できている。 お子様一人ひとりの評価、プログラム全体の評価を行い改善に繋げている。	振り返りと評価を行い、支援の改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	時期を決めて個別に対応できている	今後も継続して行ってまいります。

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	連携園との連絡がしっかり取れている。 連携している医療機関、お子様の在籍園を訪問している。	お子様の状況に応じて、今後も関係機関と連携しながら支援を行っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	細かい情報共有ができています。 保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図る取り組みは必要に応じて園との情報共有を行い、支援内容や児童の様子について相互理解を図っている。訪問する回数を増やしていきたいと思う。	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等と日常的に情報共有を行い、支援内容や児童の様子について十分な相互理解を図ってまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	就学支援シートを活用するなどの取り組みはなされているが、相互理解に関しては十分であるとは言えない。 就学支援シートを作成した。就学支援シートを書かせていただけるように提案している。	保護者の希望に応じて就学支援シートの作成・活用を提案し、就学に向けた情報共有に活かしている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	8	1	保護者の安心できる情報提供ができています。 必要に応じて市の発達センターや子ども家庭支援課に連絡をとっている	保護者が安心できる情報提供を行い、必要に応じて行政と連携している。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	子どもではないが、地域のボランティアの方と活動する機会がある。	必要に応じて保育支援に入ることがあり、また地域のボランティアの方と連携しながら活動を行う機会を設けています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	サービス提供記録でお子様様子を伝えている。 活動内容以外にも、健康状態、気持ちの変化、ご家庭での様子などを伝え合っている。	今後も丁寧な対応に努めてまいります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	講師をお招きし、年に数回の講演会を開催している。 保護者会、ペアトレを開催している。	講演会や保護者会等を開催し、保護者の交流と学びの場を提供している。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	保護者とモニタリングを通してご意向を伺っている。	必要に応じて保育支援に入ることがあり、また地域のボランティアの方と連携しながら活動を行う機会を設けています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	モニタリングでは毎回保護者に丁寧に聞き取りができています。	今後も丁寧な対応に努めてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9	0	クリスマス会等イベントを行っている。 月1回のお話し会や親子ヨガ教室、ホームカミングデー、保護者会等のイベントの開催で、保護者同士が交流できる機会が設けられている。 ヨガ、お話し会、コンサートなどを開催している。きょうだいの交流がメインのイベントは行っていない。おはなし会、ヨガ教室、ホームカミングデー等を企画している。	きょうだいを含めて参加できるイベントも開催し、家族で交流できる機会を設けています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0			

	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	必要に応じて、絵カード、文字カード、手順表などを活用している。	必要に応じて、絵カードや文字カード、手順表等の視覚的支援を活用しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	ボランティアの受け入れをしている	地域に開かれた事業所を目指して、今後も努めてまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1		初回相談時や利用開始時の個人健康管理表等を用いて、服薬や既往歴等の健康情報を保護者に確認し、必要に応じて更新・共有しながら支援に活かしています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	食事を提供する事業所ではないため、食物アレルギーについての情報は、保護者からの情報のみになっている。 食事の提供はないが、アレルギーについては把握している	食事の提供は行ってないが、利用開始時の健康管理表等を通して食物アレルギーの有無を把握し、活動時の安全確保に努めています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1		支援前に、安全管理について共有しています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		契約時にご説明しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	皆で情報共有できている。 Googleフォームを活用することで、ヒヤリハットの内容の報告と共有がスムーズになされている。 職員会議のほか臨時的に、共有と対策についての打ち合わせを行なっている。	ヒヤリハットの報告・共有体制が整っている。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	繊細に気を配って見られている。	引き続き、職員間で連携を図りながら対応していきます。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0			





